

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	国語表現	2	3年1組

### 1 使用教材

使用教科書	高等学校 改訂版 国語表現
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

### 2 学習の目標

<p>1 伝え合い、分かり合うための表現の仕方を学ぶ。</p> <p>2 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりできるようになる。</p> <p>3 国語の表現の特色、語句や語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。</p>
--

### 3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を持ち、言葉を尊重するとともに、進んで表現したり、伝え合おうとしたりしている。
② 話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりし、目的や場に応じて適切に意見を話したり書いたりするとともに、相手の意見を的確に聞き取ることができている。
③ 書く能力	文章を書く際の基礎的な知識を活用し、相手や目的に合わせた伝わりやすい文章を書くことができる。
④ 知識・理解	表現と理解に役立てるための語彙、漢字、表記等を身に付け、社会における言語生活の在り方や、言語表現の方法について理解している。

評価方法 \ 観点	観点				備考
	①	②	③	④	
授業への取組	A	A	B	C	授業態度など
課題提出	A	A	C	C	指示した時期に提出
表現活動	A	A	A	B	作品の提出を含む
定期考査	C	B	B	A	定期テスト、課題テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

#### 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>表現の実践（四）－論述－ 課題作文を書く</p> <p>要約のしかた</p>	<p>与えられた題をもとに、明確な自己アピールができるよう、自己認識を深める。 課題作文の書き方を理解し、構成のしかたや分かりやすい表現について学ぶ。</p> <p>文章の要点を押さえた、分かりやすい要約ができる力を身に付ける。</p>
2 学期	<p>小論文を書く</p> <p>表現の探求 －日本語の理解－ 日本語の特徴 方言と共通語</p>	<p>小論文の特徴と書き方の手順を理解する。 色々な種類の小論文の書き方を学ぶことにより、表現力を身に付ける。 相互批評により、他者の考えを学び合うとともに、優れた小論文の書き方を実践例を通して学ぶ。</p> <p>日本語の文法に見られる長所と短所に気付かせ、適切に文を書いたり話したりする力を身に付ける。 生きた言葉の力、地方の文化のたくましさ、心と一体になった言葉のかけがえのなさを学ぶ。</p>
3 学期	<p>－表現の研究－ コップの中の論戦</p>	<p>それぞれの文章表現の特徴をつかみ、そう表現した作者の意図について考える。</p>